生命の輪：陸から海へ、そしてふたたび陸へ

錦江湾の干潟は錦江湾の動植物を支える食物連鎖の要です。

1. 陸から

雨が陸に降ると、雨は腐葉土（落ち葉が分解されたもの）や生きものの死骸、排せつ物などから栄養分を取り込みながら、地面に浸み込み、ゆっくりと川に流れ込みます。

1. 干潟へ

川の水に含まれる栄養分の一部は、まず植物プランクトンや微生物によって吸収され、その植物プランクトンや微生物は動物プランクトンに食べられます。残った栄養分やプランクトンたちは干潟に暮らすカニや貝、ゴカイなどの生きものに食べられます。

1. 海へ

干潟の生きものは、鳥や小さな魚、ときおり人間にも食べられます。小さな魚は、より大きな魚に食べられ、その魚は人間やイルカなどの肉食動物に食べられます。

1. ふたたび陸へ

人間や鳥などの生物が栄養分を排泄物や残骸として地上に返し、その排泄物や残骸は分解されて再び連鎖を始めます。